

高等医药院校教材

(供中医专业用)

日语

第四册

第二版

张允吉 编

人民卫生出版社

07
5

高等医药院校教材

(供中医专业用)

日 语

第 四 册

第 二 版

张允吉 编

王有生 审

日语编审小组

组长 吴宣刚 (白求恩医科大学, 副教授)
副组长 鞠兴富 (中国医科大学, 副教授)
王有生 (遵义医学院, 副教授)
张允吉 (河北医学院, 副教授)
路殿卿 (哈尔滨医科大学, 副教授)

人 民 卫 生 出 版 社

日 语
第 四 册
第 二 版
张允吉 编

人民卫生出版社出版
(北京市崇文区天坛西里10号)
长春新华印刷厂印刷
新华书店北京发行所发行

787×1092毫米16开本 19印张 4插页 388千字
1980年8月第1版 1985年5月第2版第1次印刷

印数: 00,001—10,600

统一书号: 14048·4628 定价: 3.05元

前 言

本书是根据卫生部1981年10月在武汉召开的《全国高等医药院校教材编审委员会》所制订的五年制教学计划而编写的第二版教材，供全国高等医药院校日语课教学使用。

本书的起点与高中衔接，通过300学时的教学实践，使学生在原有的日语知识的基础上继续扩大词汇量，巩固和加深语法知识，从而掌握独立阅读日语医学书刊的能力。

《医用日语》全套教材由五册组成：

第一册（供医学、中医、儿科、口腔、卫生专业用） 内容有句法基本知识、惯用型基本知识和翻译基本知识，以及50篇医学科普文章（约3万5千个印刷符号），供医学专业和中医专业一年级日语基础课100学时教学用。

第二册（供医学、儿科、口腔、卫生专业用） 内容有50篇基础医学文章（约6万个印刷符号）和必要的注释，供医学专业学生学完第一册后100学时教学用。

第三册（供医学、儿科、口腔、卫生专业用） 内容有50篇临床医学文章（约6万个印刷符号）和必要的注释，供医学专业学生学完第二册后100学时教学用。

第四册（供中医专业用） 内容有50篇中医学科普文章（约6万个印刷符号）和必要的注释，供中医专业学生学完第一册后100学时教学用。

第五册（供中医专业用） 内容有50篇中医基础医学和临床医学文章（约6万个印刷符号）和必要的注释，供中医专业学生学完第四册后100学时教学用。

此外，考虑到有的地区和学校的入学水平不同，另编一本供初学者用的《医用日语预备知识》作为学习第一册的“阶梯”，学完《预备知识》后即可开始第一册的学习。因此，《预备知识》不列为正式教材，只作为有关院校选用的机动教材（供80学时教学用）。

由于编者水平有限，经验不足，时间仓促，书中缺点和错误在所难免，望使用本书的教师和同学批评指正。

全国高等医药院校日语教材编审小组

1983年4月

使用说明

本册教材衔接在日语教材第一册之后，共50课，每课2学时。各课都安排了参考译文、重点句子分析、语法解说及单词、惯用型等。根据统一安排，课文的汉字不再注假名。凡是认为需要注的都放在注释引文上面。本册课文安排的是日本汉方的科普文章，绝大多数是选自最近两、三年的日本杂志。内容以方剂及针灸的运用为主。围绕这些内容，介绍了日本对各种方剂的运用、诊断、剂型、剂量以及针法、日本汉方与中医学的对比等。还安排了几课议论性文章。选文力求语言生动活泼、语法现象丰富，以满足语言教学的需要。

每课之后均注有出处，原作者名，刊登时间等。凡没有注明出处的，均引自日本医学科普性月刊《壮快》（讲谈社出版）。

目 录

第一課	難治の慢性肝炎に簡単な灸	1
第二課	糖尿病を軽快させる背中のツボ	6
第三課	押すだけで血圧が下がる頭と足のツボ	11
第四課	頭痛にすぐ効く足の三里の灸	16
第五課	並の胃薬よりよほど効果的な足の三里	22
第六課	慢性肝炎患者を改善させた漢方薬(一)	28
第七課	慢性肝炎患者を改善させた漢方薬(二)	34
第八課	高血圧の頭痛や肩こりに漢方薬	38
第九課	治りにくい自律神経失調症に漢方薬	43
第十課	ぜんそくに漢方薬	48
第十一課	腰痛に桂枝茯苓丸と八味丸	54
第十二課	更年期障害によく効く漢方薬	59
第十三課	八味丸で老化を防げることがネズミの実験で確認(一)	66
第十四課	八味丸で老化を防げることがネズミの実験で確認(二)	72
第十五課	八味丸で老化を防げることがネズミの実験で確認(三)	77
第十六課	尿管結石を猪苓湯で	82
第十七課	歯槽膿漏を治す漢方薬	88
第十八課	八味丸を飲むと善玉コレステロールがふえる	95
第十九課	白内障を改善する八味丸	101
第二十課	前立腺肥大症に八味丸	106
第二十一課	アレルギー性鼻炎に小青竜湯	112
第二十二課	脳卒中を未然に防ぐ即効薬・三黄瀉心湯	119
第二十三課	虚証の人にピッタリ合う高血圧治療薬・真武湯	125
第二十四課	実証の高血圧症によく効く柴胡加竜骨牡蠣湯	132
第二十五課	日本人が作った漢方降圧剤・七物降下湯	138
第二十六課	皮膚病の名薬・十味敗毒湯	144
第二十七課	痔によく効く乙字湯	150
第二十八課	更年期障害に加味逍遙散	155
第二十九課	女性の下腹部の激しい痛みにズバリ効く煎じ薬	162
第三十課	のどの痛むカゼに著効の桂枝麻黄各半湯	167

第三十一課	脳卒中や心臓病によく効く牛黄	173
第三十二課	肝炎がハリ治療でぐんとよくなる	180
第三十三課	インスリンをふやすハリ治療	186
第三十四課	坐骨神経痛に対する傍神経刺(一)	191
第三十五課	坐骨神経痛に対する傍神経刺(二)	195
第三十六課	耳のツボへのハリ治療で肥満を解消	199
第三十七課	エキス剤の出現で楽になった漢方療法	205
第三十八課	難病と漢方薬	211
第三十九課	西洋医学で治せない難病が漢方で治った実例	218
第四十課	瞑眩	224
第四十一課	漢方では患者の症状や体質で薬を選ぶ	231
第四十二課	漢方薬には西洋医学の薬のような副作用はない	237
第四十三課	自分の体にピッタリ合った漢方薬は必ず探せる	245
第四十四課	漢方独自の診断法(一)	251
第四十五課	漢方独自の診断法(二)	260
第四十六課	近代医学の診断と漢方医学の診断(一)	267
第四十七課	近代医学の診断と漢方医学の診断(二)	272
第四十八課	弁証論治と方証相對	278
第四十九課	日本の漢方と中医学(一)	285
第五十課	日本の漢方と中医学(二)	292

第 一 課

難治の慢性肝炎に簡単な炎

急性肝炎から慢性肝炎にいたる肝臓病は、大変治しにくい病気の一つとされています①。半年も入院治療をしても諸検査の結果がはかばかしくなく、身心ともに弱って困りぬいているような人が大変に多いのです②。

45歳の会社員T氏もその一人③。肝硬変の疑いもあるということで、来院したときはGOT82、GPT52（正常値はともに30以下）でした④。顔色は黒黄色でむくみがあり、右の肋骨の下には硬いしこりが触れます⑤。

このT氏に鍼灸治療を行うと、3ヵ月後にはGOTが65、GPTが25と、目にみえて下がってきました⑥。まだ治療は続行中ですが、T氏のようにかなりの重症例でも、鍼灸治療は効果をあげ、週3回の治療で3ヵ月ほど経過すると、少しずつながら諸検査値も好転してくる例が少なくありません⑦。肝臓病に特有の全身の倦怠感や食欲不振も改善されてきますから、患者は治療をつづけることに意欲を燃やします⑧。

そこで、ぜひおすすめしたいのが足の甲にある肝臓病の特効ツボ、太衝への集中治療です⑨。

太衝は肝臓病の治療には最も重要な役割を果たします⑩。鍼灸の専門用語では、このツボを「肝経の原穴」ともいいますが、肝臓の働きをつかさどるエネルギーの通路の原点と考えていただいでよいでしょう⑪。

検査値がやや高いたけの肝臓病の人なら、家庭で行うツボ療法でも、かなりの効果があるはず⑫。家庭療法としては灸が最適です⑬。モグサは米粒の半分くらいの大きさにやわらかくひねり、太衝のツボへ毎日三〜五壮ずつすえてください⑭。

もし灸ができないというときは、しんを丸くした赤鉛筆の先で、このツボに刺激を加えてもそれなりの効果はあります⑮。しかし、灸と違って刺激効果は弱いので、一回に10度ほどくり返し刺激するとよいでしょう⑯。これを1日、5回でも10回でも実行するように心がけてください⑰。

太衝は、両足の甲にあります⑱。足の親指と次の第二指の間に手の人差し指の先を当てながら、足首の方向にたどっていきます⑲。

すると、足の甲の中ほどあたりで、指先がつかえるところがあります⑳。ちょうど足の親指と第二指の骨が交わって高くなっているところで、手の指の腹で静かに押してみると、わずかにトントンと脈打っているのに触れます㉑。ここが太衝のツボで

す②。わかりやすいツボですから、すぐに探し当てることができるでしょう③。

注 釋

①〔急性肝炎から慢性肝炎にいたる肝臓病は、大変治しにくい病気の一つとされています。〕译为：从急性肝炎到慢性肝炎的肝脏病，被认为是一种很难治的病。

本句的基本结构是：「……から……に至る……は……とされています」。

「……から……にいたる」从……到……的，定语。いたる〔至る〕（自五）达到。

「とされています」是「とする」的被动、现在进行、敬体，“被认为是”。

②〔半年も入院治療をしても諸検査の結果がはかばかしくなく、身心ともに弱って困りぬいているような人が大変に多いのです。〕译为：住院治疗半年之久，各项检查结果都不怎么好，身体精神都衰弱疲惫不堪，这样的人还真不少。

本句的基本结构是：「……ような人が大変多いのです」。

「半年も」半年之久，「も」是提示助词，接在数词之后，表示「……之多」。「はかばかしくない」不如意，不顺手。「困りぬく」伤透了脑筋，愁得没法。「-ぬく」接尾词，接在动词连用形之后，表示1.一贯到底；2.非常、很。△最後までやりぬこう／让我们干到底。△彼はあのことで苦しみぬいている／他为那事很痛苦。

③〔45歳の会社員T氏もその一人。〕译为：45岁的公司职员T先生也是其中之一。

「その一人」=「その一人です」。

④〔肝硬変の疑いもあるということで、来院したときはGOT82、GPT52(正常値はともに30以下)でした。〕译为：据说还怀疑肝硬变，来院的时候GOT82、GPT52(正常值均在30以下)。「疑い」怀疑，是动词「疑う」的名词法。「ということで」是惯用型「……ということだ」据说，的中顿形式。△今年の冬は暖冬ということで、少しも寒くない／据说今年冬天是暖冬，一点也不冷。「GOT」谷草转氨酶。「GPT」谷丙转氨酶。

⑤〔顔色は黒黄色でむくみがあり、右の肋骨の下には硬いしこりが触れます。〕译为：脸色黑黄浮肿，右肋下摸到硬块。むくみ〔浮腫〕(名)浮肿。しこり〔瘤〕(名)硬块，硬结。

⑥〔このT氏に鍼灸治療を行うと、3ヵ月後にはGOTが65、GPTが25と、目に見えて下がってきました。〕译为：对这位T先生进行针灸治疗三个月之后，GOT降到65、GPT降到25，下降十分明显。

「GOTが65、GPTが25と」=「GOTが65、GPTが25という風に」，此处的「と」是补格助词，是「というふうに」的省略，用以说明情况：就这样的……。「目にみえて」眼看着。△彼は目にみえて痩せてきた／他眼看着瘦下来了。

⑦〔まだ治療は続行中ですが、T氏のようにかなりの重症例でも、鍼灸治療

は効果をあげ、週3回の治療で3ヵ月ほど経過すると、少しずつながら諸検査値も好転してくる例が少なくありません。] 译为：对T先生的治疗还在进行中。象他这样相当严重的病例，针灸治疗也能取得疗效。有不少病例，通过每周三次治疗，过了三个月各项检查数值便一点一点地好转了。

本句的基本结构是：「……は……ですが、……でも……は……効果をあげ、……で……ほど経過すると……好転してくる例が少なくありません」。

「すこしずつながら」虽然一点一点地，状语。「ずつ」副助词，表示每次的均匀分配。「ながら」接续助词，1. 接在动词连用形之后，表示动作的同时并举，“一面…，一面”2. 接在表示存在、状态的动词连用形及形容词连体形、副词等之后，表示逆态，“虽然，尽管”△テレビを見ながら食事する／一面看电视一面吃饭。△疲れていながら少しも休まない／虽然很累，却一点也没有休息。

△危いながら、それをやりぬいた／虽然很危险，仍旧是把这件事干到底了。

⑧〔肝臓病に特有の全身の倦怠感や食欲不振も改善されてきますから、患者は治療をつづけることに意欲を燃やします。] 译为：由于肝病特有的全身无力感和食欲不振都能逐渐得到改善，所以病人对于继续治疗，劲头很大。「改善されてきます」逐渐得到改善。动词连用形+て+补助动词「来る」，表示发展趋向。△体がよくなってきた／身体好起来了。「意欲を燃やす」燃起热情→劲头很大。

⑨〔そこで、ぜひおすすめしたいのが足の甲にある肝臓病の特効ツボ、太衝への集中治療です。] 译为：因此，我极力建议，着重使用脚背上的肝病特效穴——太冲进行治疗。

本句的基本结构是：「……のが……です」。

ぜひ〔是非〕(副) 一定。すすめる〔勧める〕(他下一) 劝告，建议。「おすすめしたい」是「すすめる」的尊他形式「おすすめする」的连用形+愿望助动词「たい」。

こう〔甲〕(名) 背。△手の甲／手背；△足の甲／脚背。

⑩〔太衝は、肝臓病の治療には最も重要な役割を果たします。] 译为：太冲对肝病的治疗起着最重要的作用。「には」补格助词「に」+提示助词「は」，对……来说。

某些助词+「は」之后，往往有轻微假定的意思。△ガンの治療に対しては今のところまだ特効薬はありません／对于癌的治疗来说，目前还没有特效药。「役割を果たす」起作用。

⑪〔鍼灸の専門用語では、このツボを「肝経の原穴」ともいいますが、肝臓の働きをつかさどるエネルギーの通路の原点と考えていただいてよいでしょう。] 译为：在针灸专业术语里，这个穴位又称作“肝经原穴”，可以理解为掌管肝脏活动的“气”的通路（即，经）的起点。

本句的基本结构是：「……では、……を……ともいいますが、……を……と考えて

いただいでよいでしょう。」

つかさどる〔主る, 司る〕(他五) 掌管, 主持。 エネルギー〔energy〕(名) ①活
気, 精力 ②能量。 「とを考えていただいでよいでしょう」可以理解为……吧。 动词
连用形+ていただく, 表示请别人为自己做某事。「いただく」是补助动词。 △李先生
に教えていただきました/请李老师教的。 动词连用形+てよい, 表示允许、可以。

△もう退院してよい/可以出院了。

⑫〔検査値がやや高いだけの肝臓病の人なら、家庭で行うツボ療法でも、かなり
の効果があるはずです。〕 译为: 如果仅仅是化验数值略高的肝脏病人, 那么在家里
进行针灸疗法, 也应该有相当的疗效。

本句的基本结构是:「……なら、……でも……があるはずです」。

「だけ」, 副助词, 表示限定, 仅仅。 はず〔筈〕(形式体言) 按理, 理应。 △彼
は今日来ているはずです/他今天应该在(应该是来了的)。

⑬〔家庭療法としては灸が最適です。〕 译为: 作为家庭疗法来说, 灸最为合适。

「……としては」是「として」作为+「は」, 形成轻微假定。

⑭〔モグサは米粒の半分くらいの大きさにやわらかくひねり、太衝のツボへ毎
日3ないし5壮ずつすえてください。〕 译为: 艾绒要轻轻捻成半个米粒大小, 每天
向太冲穴灸3~5壮。 もぐさ〔艾〕(名) 艾, 艾绒。 「くらい」副助词, 表示大约。

やわらかく〔柔かく〕(形→副) 轻轻地, 柔和地。 ひねる〔捻る〕(他五) 捻, 扭。

すえる〔据える〕(他下一) 安放。 △灸をすえる/点灸, 灸治。 动词连用形+「て
ください」, 表示请求。 △少しずつ飲んでください/请一点一点地喝。

⑮〔もし灸ができないというときは、しんを丸くした鉛筆の先で、このツボに刺
激を加えてもそれなりの効果はあります。〕 译为: 如果不能灸治的时候, 就用钝芯
的铅笔尖给这个穴位加以刺激, 也会有相应的疗效。

本句的基本结构是:「……時は、……で……でも、……効果はあります」。

「時は」时间状语。 しん〔芯〕(名) 芯。 「芯を丸くする」把(铅笔)芯搞圆,
弄钝。 「それなりの」相应的。「なり」接尾词, 表示相应的程度。 △彼にも彼な
りの考えがある/他也有他自己(相应)的想法。

⑯〔しかし、灸と違って刺激効果は弱いので、1回に10度ほどくり返し刺激す
るとよいでしょう。〕 译为: 然而, (这)与灸不同, 刺激效果小, 每次可以重复十
下左右。 「……と違う」=「……と異なる」跟……不同。 くりかえし(て)〔繰返
し(て)〕(副) 反复地 「……とよい」……就可以了。 △カゼにはAPCを与えると
よいでしょう/对感冒, 给点APC就可以了。

⑰〔これを1日、5回でも10回でも実行するように心がけてください。〕 译为:
每天不论5次10次都行, 请坚持把它进行下去。「……でも……でも」不论……或…

…。△大人でも子供でもみな知っています／不论大人孩子都知道。「ように」状语，表示要求的方式。ころがける〔心掛ける〕(复合动词，自下一) 留意，坚持。

⑮〔太衝は、^{りょうあし}両^{こう}足の甲にあります。〕译为：太冲位于两只脚脚背上。

⑯〔足の親指^{おやゆび}と次の第二指^しの間に手の人差し指^{ひとさし}の先^{ゆびさき}を当てながら、足首^{あしぐび}の方向にたどって行きます。〕译为：把手的食指尖放在脚的大拇趾与挨着它的第二趾之间，向脚脖子方向捋过去。

本句的基本结构是：「……に……を当てながら……にたどって行きます」。

あてる〔当てる〕(他下一) 放上去。たどる〔辿る〕(自五) 沿着，寻找。动词连用形+て+补助动词「行く」表示动作趋向。「たどって行く」找下去。

⑰〔すると、足の甲の中ほどあたりで、指先がつかえるところがあります。〕译为：于是指尖在脚背中间某处被阻挡住。すると(接)于是。「中ほどあたりで」在中部附近的地方。「ほど」副助词；「あたり」接尾词，在这里均表示大约的位置。つかえる〔支える；^{むね}痞える〕(自下一) 堵塞不通，痞塞。△胸が痞える/心口痞塞不畅。

⑱〔ちょうど足の親指^{おやゆび}と第二指^{ふたばし}の骨^{ほね}が交^{まじ}わって高くなっているところで、手の指の腹^うで静かに押してみると、わずかにトントンと脈打っているのに触れます。〕译为：这正是拇趾与第二趾的骨头相交隆起的地方，用指腹轻按，会摸到轻微的脉搏跳动。

本句的基本结构是：「(これは) ……ところで、……押してみると……に触れます」。

「押してみると」按按看。动词连用形+て+补助动词「見る」表示做某一动作试试看。「と」是接续助词，表示轻微假定。△やってみると、大^{たい}したことはなかった／做做看，也没什么了不起的。わずかに〔僅かに〕(副) 仅仅，稍微。トントンと(拟声副词) 咚咚地。「脈打つ」(复合动词，自五) 脉搏跳动。「の」形式体言，代表「わずかにトントンと脈打っている」。

⑲〔ここが太衝のツボです。〕译为：这里便是太冲穴。

⑳〔わかりやすいツボですから、すぐに^{さか}探し当てることができるでしょう。〕译为：这是个很好找的穴位，您会马上找到的。わかりやすい〔分り易い〕(复合词) 容易懂。すぐに(副) 马上，立即。さがしあてる〔探し当てる〕(复合动词，他下一) 找到。

(日本经络学会副会长 岡田明祐^{おかだ めいゆう}) 8.26

第 二 課

糖尿病を軽快させる背中のツボ

糖尿病のように、病気の経過も長く、ほとんど一生つき合っていかなければならない病気にこそ、家庭で日常的にできるツボ療法が真価を発揮するといえましょう①。

私は数年前、糖尿病に鍼灸治療がどの程度有効なものなのか、調べてみたことがあります②。血糖値が高く、明らかに糖尿病と診断された54人の患者を集め、1年から4年の間、鍼灸治療を行いながら経過を観察しました③。

その結果、血糖値が31ミリ以上下がった著効例が33%、11ミリから30ミリ改善された良効例まで含めると、実に半数近くの患者に有効なことが確かめられたのです④。

治療に用いたツボは、患者の体の状態や症状によって異なりました⑤。しかし、その中で、どの患者にも共通して用いたのが、背中の脾俞と腹部にある左の腹哀の二つのツボです⑥。糖尿病に最も直接的に作用し、効果の高いツボは、この二つのツボといえます⑦。

脾俞、腹哀は、ともに体の中心から左右対称の位置に二つずつあります⑧。脾俞は左右二カ所を用いますが、腹哀については左側のツボのみを用います⑨。

糖尿病が脾臓の機能が低下したために起こる病気であることは、改めていうまでもないことです⑩。ですから、治療は脾臓にいわば“活”を入れる必要があるわけですが、脾俞や腹哀はその意味でも大変理にかなったツボなのです⑪。

というのも、脾俞は、その名のとおおり脾の働きに関係するツボなのですが、この“脾”は現代の解剖学的分類によると、まさに脾臓そのものに相当しているのです⑫。

また、左の腹哀は、脾臓のちょうど真上に位置しているツボなのです⑬。両者とも、脾臓にいかに直接的に関係しているかわかりでしょう⑭。

なお、腹部のツボは慣れない人が指圧するのはさけたほうが無難なので、腹哀には灸を行い、脾俞には指圧を行うのがよいでしょう⑮。

腹哀は、両わき腹にあります。糖尿病治療には体の左側のツボのみを使います⑯。まず、写真のように細い棒を左の乳首の先端から真っすぐ下にそえます⑰。このとき、棒が肋骨の一番下のへりとぶつかった点、肋骨のすぐ下の位置が腹哀のツボです⑱。

女性で乳首が外側に開いている人は、てのひらで胸のわきを胸板まで押しつけなが

ら、乳首の位置を決めます⑱。

脾俞のツボは背中にあります⑲。

首を前方へ思いきり深く曲げたとき、首の後ろのつけ根中央に、ひときわ高くとび出ている骨の突起があります⑲。これを第七頸椎棘突起といいます⑲。

そのすぐ下一つめの背骨の突起に、まず印をつけておきます⑳。この突起を、第一胸椎棘突起といいます㉑。

次に、尾骨の先端を探し、そこに印をつけ、それと前につけた印とを結んだ線のちょうど二等分する中間点に印をつけます㉒。

そして、この中間点から、人差し指と中指を合わせた幅だけ、背骨の中央から外側へ寄った点に印をつけます㉓。

この点が、目指す脾俞のツボの位置で、背骨を中心にして左右に二点あります㉔。

注 釋

①「^{とうにようびよう}糖尿病のように、病気の経過も長く、ほとんど一生^{いっしょう}つき合っていかなければならない病気にこそ、家庭で日常的にできるツボ療法が真価^{しんか}を発揮^{はつき}するといえましょう。」 译为：糖尿病的病程长，几乎要跟它打一辈子交道。可以说，家常容易做到的穴位疗法能够发挥真正作用的，正是象这样的病。

本句的基本结构是：「……こそ，……といえましょう」。

「つき合う」打交道，陪伴。

「つき合っていかなければならない」是「つきあう」+て+补助动词「行く」+なければならぬ／必须把交道打下去。「こそ」提示助词，强调主语，译为“正是……才”。「……と言えましょう」是「と言える」（能够说）的敬体推量式。

②「私は^{すうねんまえ}数年前、糖尿病に鍼灸治療がどの程度有効なものか、^{しら}調べてみたことがあります。」 译为：我在几年前曾研究过针灸治疗对糖尿病到底效果如何。

本句的基本结构是：「私は……が……に……なものか（を）調べてみたことがあります」。

「どの程度」在多大程度上。「……有効なものか」后面省掉宾格助词「を」，构成「調べてみた」的宾语。「ことがあります」谓语补助成分，承接过去式，译为“曾经”；承接现在式，译为“有时”。

③「^{けつとうち}血糖値が高く、^{あき}明らかに糖尿病と診断された54人の患者を^{あつ}集め、1年から4年の間、^{あいで}鍼灸治療を行いながら経過を観察しました。」 译为：我找了血糖值高、被确诊为糖尿病的患者54人，在1～4年的时间里，边进行针灸治疗，边观察了他们的病程。

本句的基本结构是：「……を集め……を行いながら……を観察しました」。

「明らかに糖尿病(である)と診断された」被诊断为明显是糖尿病的……被确诊为糖尿病的……。「明らかに」修饰「糖尿病である」。

④〔その結果、血糖値が31ミリ以上下がった著効例が33%、11ミリから30ミリ改善された良効例まで含めると、実に半数近くの患者に有効なことが確められたのです。〕译为：其结果，血糖值下降达31毫克以上的显效例占33%，若包括下降11毫克到30毫克的良效例，可以肯定对将近半数的病人有效。

本句的基本结构是：「……が33%（で）、……まで含めると、実に……ことが確められたのです」。

本句到「33%」是中顿、省略了「で」。じつに〔実に〕（副）真地，实在，竟。「確められたのです」是「確かめる」（弄清楚，确认）的可能式，加上「のです」，改换成判断句，用以说明情况：是……的。「ミリ」是「ミリグラム」（毫克的省略。「ミリ」又有时是「ミリメートル」（毫米）的省略，要根据前后文来判断。

「まで」副助词，表示程度的限度，甚至，连。

⑤〔治療に用いたツボは、患者の体の状態や症状によって異なりました。〕译为：用于治疗的穴位，根据病人身体情况和症状而有所不同。「……によって異なる」根据……而有所不同。△人間の皮膚の色は人種によって異なります／人类的肤色，根据人的种族而有所不同。本句用过去时是指当时的情况。

⑥〔しかし、その中で、どの患者にも共通して用いたのが、背中の脾俞と腹部にある左の腹哀の二つのツボです。〕译为：然而对每个患者都共同使用的，便是后背的脾俞和腹部左侧的腹哀这两个穴位。

本句的基本结构是：「……のが……の二つのツボです」。

せなか〔背中〕（名）后背。

⑦〔糖尿病に最も直接的に作用し、効果の高いツボはこの二つのツボといえます。〕译为：可以说，最直接作用于糖尿病而且疗效最高的穴位，便是这两个穴位。

本句的基本结构是：「……は……の二つのツボといえます」。

「……と言えます」可以说，能够说。△鍼灸療法は一番費用の安い療法と言えます／针灸疗法可以说是最便宜的疗法。

⑧〔脾俞、腹哀は、ともに体の中心から左右対称の位置に二つずつあります。〕译为：脾俞、腹哀都在人体中心左右对称的位置上，各有两个。ともに〔共に〕（副）都。「ずつ」副助词，表示均等的分配。

⑨〔脾俞は左右二カ所を用いますが、腹哀については左側のツボのみを用います。〕译为：脾俞是用左右两处，可就腹哀来说，只用左侧的穴位。「……については」就……来说。△患者の予後については今の所まだ何とも言えません／关于病人的预后，眼下还不好说什么。

「のみ」=「だけ」仅仅、只，副助词。

⑩「糖尿病が^{すいぞう}膵臓の機能が低下したために起る病気であることは、^{あらた}改めていうまでもないことです。」译为：糖尿病是由胰腺功能降低而引起的疾病这一点，是不言而喻的了。

本句的基本结构是：「糖尿病が……であることは、……言うまでもないことです」。

在这里，「膵臓の機能が低下したために起る」做定语，修饰「病気」。「ため」是表示原因或目的的形式体言。「ために」由于……的缘故，原因状语。△カゼをひいたために学校を休んだ／由于感冒而没上学。あらためて「改めて」（副）重新、再。「いうまでもない」用不着提了；惯用词组。

⑪「ですから、治療には膵臓にいわば“活”を入れる必要があるわけですが、脾俞や腹哀はその意味でも大変理にかなったツボなのです。」译为：因此，治疗上就有必要对胰腺施行比方说“苏醒术”，而脾俞和腹哀这两个穴位在这个意义上也是很合乎道理的。いわば「言わば」（副）比如说。「活を入れる」施行苏醒术，日本柔道术语。「……わけですが」，「わけ」形式体言，用以说明缘由、道理，可不译出。

「理にかなう」合乎情理。かなう「適う」（自五）合乎，适合。「ツボなのです」=「ツボです」。「な」是借用形容动词连体形词尾，「の」是形式体言。日语判断句常常把「なの」插在体言和判断助动词之中，用以说明情况，缓和语气。形式体言「の」在口语中还常常变音成为「ん」。△私も医者なんです／我也是个医生。

⑫「というのも、脾俞はその名のとおり脾の働きに関係するツボなのですが、この「脾」は現代の解剖学的分類によると、まさに膵臓そのものに相当しているのです。」译为：这么说也是因为脾俞是个名副其实与脾的活动有关的穴位，可是这个“脾”，按现代解剖学分类，正是相当于胰腺本身。「というのも」这么说也是因为，惯用词组，在这里起接续作用。「その名のとおり」如同其名。とおり「通り」（形式体言）如同，按照，……样。△先生のおしえたとおりにやりなさい／请按老师所教的那样去做。「働き」是动词「働く」的名词法，活动，作用。「……によると」根据，按照。△看護婦の報告によると……／根据护士的报告……。まさに「正に」（副）正是。「まさに……そのもの」正是……本身。

⑬「また、左の腹哀は、膵臓のちょうど真上に位置しているツボなのです。」译为：另外，左腹哀是个正好位于胰腺上面的穴位。まうえ「真上」（名）正上方。

⑭「両者とも、膵臓にいかに直接的に関係しているかわかりでしょう。」译为：由此可见，两者都对于胰腺有着多么直接的关系。

本句的基本结构是：「……か（が）わかりでしょう」。

「わかりでしょう」是「わかったでしょう」的尊他敬语，（您该）明白了吧！

いかに〔如何に〕（副）多未。

⑮〔なお、腹部のツボは慣れない人が指圧するのはさけたほうが無難なので、腹
哀には灸を行い、脾俞には指圧を行うのがよいでしょう。〕 译为：另外，对腹部的
穴位，不熟练的人还是避免施行指压为安全，所以对腹哀要施行灸治，而对脾俞则施行
指压为好。

本句的基本结构是：「……は……ほうが無難で、……のがよいでしょう」。

「腹部のツボは」是「指圧する」的宾语，以提示助词「は」代替「を」。形式体言
「の」代表了「腹部のツボを慣れない人が指圧する」「なれる」「慣れる」（自下
一）习惯，熟悉。动词过去式＋ほうが……（＋形容词或形容动词），以……为……。

△やはり手術したほうがいい／还是以做手术为好。ぶなん「無難」（形动）平安
无事。「……のがよい」以……为宜。△やはり手術するのがよい／还是做手术为
好。「良い」的终止形、连体形往往用「いい」。

⑯〔腹哀は、両わき腹にあります、糖尿病治療には体の左側のツボのみを使
います。〕 译为：腹哀在腹部两侧，治疗糖尿病只使用左侧穴位。わきばら「脇腹」
（名）侧腹。「……には」对于……来说，补格助词「に」＋提示助词「は」，有轻
微假定的意思。

⑰〔まず、写真のように、細い棒を左の乳首の先端から真っすぐ下にそえます。〕
译为：首先，取一细棍由左乳头（尖）向下比直，如照片。真っすぐ「真直ぐ」
（副）笔直。そえる「添える」（他下一）添加，按上。

⑱〔このとき、棒が肋骨の一番下のへりとぶつかった点、肋骨のすぐ下の位置が
腹哀のツボです。〕 译为：这时细棍与肋弓下缘相交之点，即紧挨肋骨下面的位置，
便是腹哀穴。「……点」与「……の位置」是同位语。へり「縁」（名）边缘。
ぶつかる（自五）碰、撞、遇。

⑲〔女性で乳首が外側に開いている人は、てのひらで胸のわきを胸板まで押しつ
けながら、乳首の位置を決めます。〕 译为：女性乳头像向外的人，可用两手掌把胸侧
部向胸脯方向推挤，以确定乳头位置。てのひら「掌」（名）
手掌。わき「脇」（名）侧部，旁边。むないた「胸板」（名）胸脯。「おしつけ
ながら」是「押しつける」（按紧，推挤）的连用形＋接续助词「ながら」（表示同时
并举）一面按到……，一面……。

⑳〔脾俞のツボは背中にあります。〕 译为：脾俞穴在后背。

㉑〔首を前方へ思いきり深く曲げたとき、首の後ろのつけ根中央に、ひときわ
高くとび出ている骨の突起があります。〕 译为：将脖子使劲向 前方 深深 弯曲的时
候，脖子后根中央，有一个特别凸起的骨突。

本句的基本结构是：「……とき、……に……があります」。